

**令和 5 年度 「社協の総合相談」をすすめるための関連研修
(社協コミュニティソーシャルワーク研修) “社協基礎研修”開催要項**

1. 趣旨

昨今、地域における課題は多様化しており、直接的に福祉を必要としている人もいれば、必ずしも福祉で解決できる課題ではないこともあります。地域住民が地域で安心して暮らせる地域づくりを行っていく社協は地域住民、地域に寄り添った支援を展開していく必要があります。社会的孤立・排除や世帯の複合課題、制度の狭間など今後の包括的な支援体制の構築をすすめるうえで、多機関・多職種の協働や多様な地域住民の参加は重要なポイントになると言われています。重層的支援体制整備事業の実施や「社協の総合相談」の推進のため、コミュニティソーシャルワーカーの配置や、地区担当制を設ける等、環境整備やネットワークの構築が図られています。

また、単独社協でできることは限られており、自社協にとどまらない相互研鑽や情報共有の場、県内の市町村社協におけるネットワークづくりが重要となってきます。

本研修では、個別支援や地域支援を行う社協職員が新たな学びにより社協コミュニティソーシャルワーカーの位置づけや方向性を再確認し、「社協の総合相談」を活かして、社協のコミュニティソーシャルワーク力を高めるとともに県域での社協職員のネットワークを構築していくことを目指します。

2. 概要

本研修は、コミュニティソーシャルワーカーの基礎を再確認しながら、地域でのコミュニティソーシャルワーク実践方法を学び、共有することで地域共生社会の実現にむけた社協について学んでいきます。
(※かながわ版社協職員育成指針 2022 より抜粋)

3. 対象

基本として社協入職 3 年から 15 年程度の職員で個別支援・地域支援を担当する職員（正規・非正規の雇用形態は問わない。上記以外の年数、担当の職員の参加も可能。）。

4. 主催

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 市町村社協部会

5. プログラム ※1 日のみの参加から可能。

【1 日目：ソーシャルワークの基礎】※ソーシャルワークの具体的な方法や技術を学ぶ研修ではありません。

講師	佐藤 寿一氏（元宝塚市社会福祉協議会 常務理事）
日時	令和 5 年 12 月 19 日（火）14 時～16 時
申し込み締め切り日	令和 5 年 12 月 14 日（木）17 時
方法	Zoom によるオンライン
定員	100 名
内容	市町村社協においてどのようなソーシャルワークが発揮されるべきなのか、また、社協が行う地域を基盤としたソーシャルワークの実践は何か考える。

【2日目：社協の基本理解】

講師	川上富雄氏（駒澤大学 文学部社会学科社会福祉学専攻 教授）
日時	令和6年1月10日（水）14時～16時
申し込み締め切り日	令和6年1月5日（金）17時
方法	Zoomによるオンライン
定員	100名
内容	社協の歴史は古く、その性格も民間団体と比べると非常に稀有である。社協そのものについて振り返ることで自らの業務の意味についても考え、社協がこれまで大事にしてきたものを踏まえつつ、これからの時代に即した社協のあり方について考える。

【3日目：社会的孤立・排除や制度の狭間へのアプローチ】

講師	室田信一氏（東京都立大学 人文社会学部人間社会学科 准教授）
日時	令和6年1月26日（金）14時～16時30分
申し込み締め切り日	令和6年1月22日（月）17時
方法	集合による対面研修※別紙地図参照 （〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 3-31-6 神奈川歯科大学附属横浜クリニック・横浜研修センター7階大会議室）
定員	50名
内容	今日、様々な場面で社会的孤立・排除や制度の狭間という言葉が使われている。そういった課題に対してどのように支援を展開するかだけではなく、そもそも社会的孤立とは何か、制度の狭間とは何かを考える。

6. 受講申し込み

Google formにて受付。

URL：<https://forms.gle/KVy7H85ZzbkdGbm58>

7. 問い合わせ

（福）神奈川県社会福祉協議会 地域福祉部地域課 上田

Tel:045-312-4815,Mail:tiiki@knsyk.jp